

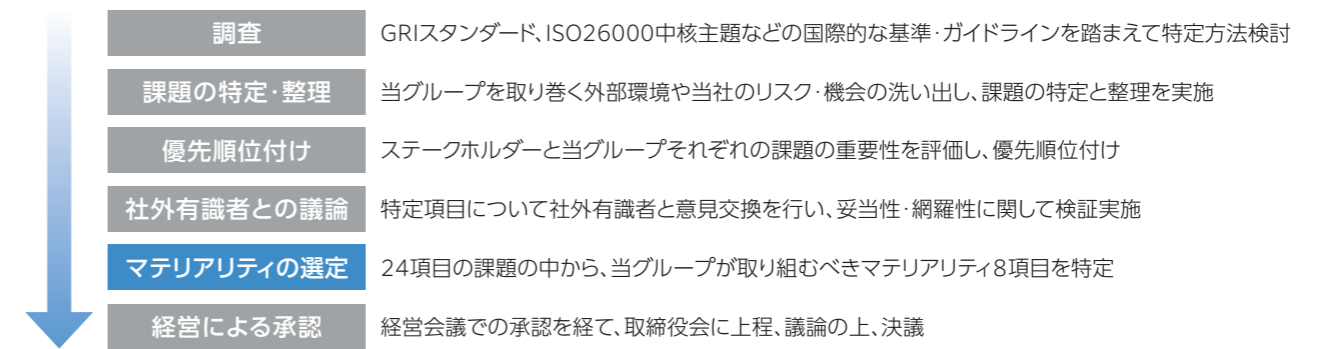
特定したマテリアリティと2030年目標

当グループは、持続可能な社会の実現に向け、優先的に取り組んでいくマテリアリティ(重要課題)に対し、2030年時点でのあるべき姿を指標化したサステナビリティ目標を策定しています。第15次中期経営計画(2024年3月期~2026年3月期)においては「ESG経営の実現」を経営方針に掲げ、目標達成に向けてさらに取り組みを加速させていきます。

マテリアリティ特定の方針

- 企業理念「人材重視」「喜ばれる企業」に基づいた内容であること
- 国連が発行した「持続可能な開発目標 (SDGs)」と親和性が高い内容であること
- 持続可能な社会の実現に向けて貢献できる内容であること

マテリアリティ特定のプロセス



カテゴリー	関連するSDGs	主な課題	目指す姿	マテリアリティ項目	マテリアリティKPI	第14次中期実績	第15次中期目標	2030年目標	主な施策
社会	8, 9, 12	世の中の期待を超える革新的で魅力ある新商品・新技術の提供	● お客さまの期待を超える新たな価値を創造し、高品質かつ魅力的な移動空間の提供を通じて、安全・安心でより豊かな社会づくりに貢献	魅力的な革新技術開発	研究開発費に占める革新技術開発費比率	2021年3月期比 +2.6%	2021年3月期比 +3%	2021年3月期比 +10%	● 生体センシング技術の開発や環境対応技術などオリジナル技術への積極投資
				製品品質の向上	シートサプライヤーIQS評点*1	8.8P	7.0P	2.0P(高位安定)	● 検証ツールの精度向上による製品品質向上 ● グローバルで継続的に品質人材育成ができる仕組みの構築
環境	6, 7, 12, 13, 15	サステナブル社会の実現に向け、「環境にやさしいモノづくり」による負荷低減	● 脱炭素社会を目指し、製品設計から製品ライフサイクルの各段階で、省エネルギー・資源の有効活用に取り組み、環境負荷低減に貢献 ● 全社員が環境への意識を高く持ち、「緑を地球に返す」をコンセプトに自然保護活動と生態系の保全に取り組む	気候変動対応	CO2排出量削減率*2	2020年3月期比 Δ16%	2020年3月期比 Δ25%	2020年3月期比 Δ50%	● 開発・生産効率の向上 ● 植物由来の原料などを用いた製品の開発・推進 ▶ P.24-27
				資源循環、有効活用	廃棄物削減率*3	2020年3月期比 Δ16% (全量)	2020年3月期比 Δ25%	2020年3月期比 Δ50%	● TCFDに基づくリスクと機会の分析およびその対応 ▶ P.39-41 ● ISO14001/ISO50001に基づくエネルギーマネジメントの実施 ● 省エネルギー・再エネルギー設備の導入 ▶ P.42-43
				自然との共生	テイ・エス テック基金(マッチングギフト制度)の創設	2020年3月期比 Δ13% (全量)	2020年3月期比 Δ15%	2020年3月期比 Δ50% 環境影響“0”	● マッチングギフト制度調査・制度構築
企業基盤	5, 8, 9, 10, 17	多様性を尊重し個々の能力を最大化する仕組みの構築	● 全てのステークホルダーの人権を尊重し、社員一人ひとりが多様性を活かした働きがいのある職場環境の実現 ● 企業の社会的責任を果たし、継続的な事業成長と企業価値向上のため、多様かつ透明性の高い経営を実践	人権の尊重	エンゲージメントレーティング*5	C	BB	AAA	● 部署ごとの調査結果分析、優先課題の明確化 ● 評価制度・コミュニケーション機会の拡充 ▶ P.51
				多様性を活かした働き方改革	サプライヤーサステナビリティガイドライン遵守率*6	97% (対象:国内取引先126社)	100% (対象:国内外取引先)	100% (対象:国内外取引先)	● 遵守状況確認調査の海外展開 ▶ P.47-49
				ガバナンスの強化	多様な人材の管理職比率*7	32.5%	33.3%	35%	● 階層別研修でのキャリア形成後押し ● 仕事とプライベートの両立支援(出産・育児・介護の環境整備) ▶ P.50
				ガバナンスの強化	コーポレートガバナンス・コード遵守率	100%	100%	100%	● 腐敗防止のための継続的な取り組み

*1 株式会社J.D. パワー ジャパンによる日本自動車初期品質調査SM(Initial Quality Study, 略称IQS)の評点
新車購入者を対象に不具合経験を調査し、車100台当たりの不具合指摘件数として集計される。数値が低いほど品質が高いことを示す
*2 当グループの事業活動に伴うCO2排出量(Scope 1+2)の削減率
*3 当グループの生産活動に伴う廃棄物の削減率(残渣、汚泥などは除く)

*4 当グループの工場設備での取水量(使用量)の削減率と、生産活動に伴う排水による環境影響
*5 当社社員を対象とした、株式会社リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」によるエンゲージメントレーティング
目標とする「AAA」は全11段階中、最上位のレーティング
*6 当グループの取引先(海外を含む)を対象としたサプライヤーサステナビリティガイドラインの遵守率
*7 女性・キャリア採用・外国籍・高齢者・障がい者の管理職比率